

2016年度第4回理事会 (臨時)開催



NEC レッドロケッツ 2016 アジアクラブ女子選手権大会優勝

2016年9月13日(火)に開催された2016年度第4回理事会(臨時)の概要をお知らせします。

●中期計画について

先に承認された2050年構想に基づき策定された中期計画について説明がおこなわれ、承認可決されました。

【2020までの数値目標】

- ◆プレイヤー人口 … 登録選手数 50 万人
- ◆事業規模 … 事業規模 30 億
- ◆競技力 … 2020 年 4 つのメダル獲得
- ◆社会貢献 … 支えるバレーボールファミリー人口 70 万人
- ◆高潔性 … 違法行為・暴力・体罰ゼロ

数値目標を達成するために必要な以下 5 つのアクション

- ①普及と強化
…広くバレーボールを楽しんでもらい、“バレーボール嫌い”をつくらない
- ②組織力の向上
…バレーボール界一丸で、効果的かつスピーディーな活動を行う基盤づくり
- ③事業運営の改善
…あらゆる事業の徹底的な見直し
- ④財務体質の改善
…スポーツの産業化の流れを汲み取りつつ、コスト意識の徹底
- ⑤外部団体の関わり
…認められる JVA、認められるバレーボール界のために永続的、継続的に活動を行う

2016年～2020年までの間、年毎に何を達成すべきかを具体的に盛り込み、目標を段階的に設定しました。また、それぞれのアクションを担当するリーダー（責任者）を決め、今後の進捗を管理する体制も整えました。

*上記の内容は、中期計画の骨子となりますが、詳細については改めまして説明の場を設けます。

●定年に関する規程及び役員候補者推薦規程の改定について

定年に関する規程及び役員候補者推薦規程の改定について以下の通り説明行われ、承認可決されました。

6月7日に開催された第2回理事会（定例）にて、定年に関する規程及び役員候補者推薦規程の改定についての提案があり、会長も含め、役員は定年制（選任基準日においてその年齢が70歳未満）が適用となること、「理事の任期満了時点で会長の職にある者が、70歳以上で理事に再任することは妨げない。」等の変更が承認可決されました。

しかしながら、6月22日に開催された定時評議員会において、「定款第33条では役員の定年に関わる取扱が規定されているにもかかわらず、今回の規程の改定で会長の定年だけがなくなることになり、定款との齟齬が生じるのではないか。」また、「定款を改定するまでではないが、会長職は75歳まで、もしくは2期連続が限度等、上限を設けるべきではないか。本件について、理事会で再度検討していただきたい。」との意見が出されました。

評議員会からの要望を受け、内容を検討した結果、「会長職にある者の理事再任の上限を75歳未満」とし、本日再提案しました。

主な変更点は以下の通りです。

【定年に関する規程（下線部は変更点）】

■（定年）

第3条 評議員、役員及び委員会委員は、選任基準日においてその年齢が70歳未満でなければならない。

但し、理事の任期満了時点で会長の職にある者が、75歳未満で理事に再任することは妨げない。

【役員推薦規程（下線部は変更点）】

第3章 役員定年制

■（定年制）

第5条 役員は、選任基準日においてその年齢が70歳未満でなければならない。

但し、理事の任期満了時点で会長の職にある者が、75歳未満で理事に再任することは妨げない。

本件に関しましては、6月7日の理事会にて一旦承認されましたが、上記の経緯により規程の一部を修正する必要が生じたため、皆様へのご報告が遅れましたことをお詫びいたします。

●加盟団体規程の改定について

加盟団体規程の改定についての説明が行われ、承認可決されました。

2015年6月22日に開催された2015年度定時評議員会において定款の一部改定を行い、第47条に新たな規定(参与)が挿入されたため、それ以降の各内容に対する条番号が一つずつ繰り下がる事となりました。これにより定款第11章加盟団体の各条番号も変更となりましたが、加盟団体規程に記載されている定款の条番号が適切に変更されていなかったため、今回整合性をとることとなりました。

変更点は下記の通りです。

1. 加盟団体規程記載の「定款第50条」を「定款第51条」に変更
2. 加盟団体規程記載の「定款第52条」を「定款第53条」に変更
3. 加盟団体規程記載の「定款第53条」を「定款第54条」に変更

なお、定款の条番号変更に伴い、改定が必要な規程はこの他にも多数ある為、その他規程についても定款の条番号の整合性をとることに限定して修正することについて承認可決されました。

●全日本代表シニア男子あるいは女子ナショナルチーム監督選任規程の改定について

全日本代表シニア男子あるいは女子ナショナルチーム監督選任規程の改定について説明がおこなわれ、承認可決されました。

(変更理由及び変更点)

■本規程において、監督の選任については定められていたが、解任については規定されていなかったため、新たに追記しました。

→2条 監督の選任及び解任は理事会の決議をもって行うものとする。

■監督候補者選考委員会

・各事業本部長の表記を「強化事業本部長、業務執行理事」に置き換えました。

・監督候補者選考委員会の構成について、現場により近い委員(Vリーグ男子チーム監督代表・全日本大学バレーボール連盟代表、Vリーグ女子チーム監督代表・全国高等学校体育連盟バレーボール専門部代表)を追加して欲しいとの要請を強化委員会から受け、各2名を追加することとなりました。

→第5条 委員会は、以下の委員により構成される。

(1) 男子監督候補者選考

この法人の代表理事、事務局長、強化事業本部本部長、業務執行理事、理事1名、男子強化委員長、Vリーグ機構代表、Vリーグ男子チーム監督代表、全日本大学バレーボール連盟代表

(2) 女子監督候補者選考

この法人の代表理事、事務局長、強化事業本部本部長、業務執行理事、理事1名、女子強化委員長、Vリーグ機構代表、Vリーグ女子チーム監督代表、全国高等学校体育連盟バレーボール専門部代表

・委員会の議長は決議には加わらないこととしました。

→第5条 6 前項の委員会決議において、議長は決議に加わることはできない。

■監督の任期はこれまで「原則として、就任後2年以内に開催される世界選手権大会または、オリンピック競技大会終了の時までとする。」と定められていたが、チーム強化に専念するためには短すぎるため、次期オリンピックまでの4年間を基本としました。

→第9条 監督の任期は、原則として、次期オリンピック競技大会終了の時までとするが、世界選手権大

会等の成績によっては任期途中で終了する場合があります。

●監督候補者選考委員会委員の追加選任について

監督候補者選考委員会委員の追加選任について説明がおこなわれ、以下の通り承認可決されました。

本日、全日本代表シニア男子あるいは女子ナショナルチーム監督選任規程の改定が承認されたことに基づき、下記の委員を追加選任したい。

監督選考委員会委員枠	氏名	現在役職
Vリーグ男子チーム監督代表	小林 敦	東レアローズ監督
全日本大学バレーボール連盟代表	積山 和明	東海大学教授
Vリーグ女子チーム監督代表	河本 昭義	岡山シーガルズ監督
全国高等学校体育連盟バレーボール専門部代表	太田 豊彦	共栄学園高等学校バレーボール部監督

●バレーボール用品・用器具の公認・推薦に関する規程の改定について

バレーボール用品・用器具の公認・推薦に関する規程の改定について説明がおこなわれ、承認可決されました。

今回の改定内容としては、公認用品・用器具とされていた「ホイッスル(審判用)」を、推薦用品・用器具として取り扱うことについて提案いたします。公認用品・用器具は JVA 主催大会で必ず使用することが義務付けられていますが、ホイッスルについては、実態として、審判がそれぞれ使いやすいものを使っており、限定することが難しいため今回の提案となりました。

●役員担務等の変更について

役員担務等の変更について説明がおこなわれ、以下の通り承認可決されました。

対象者	現在	変更後
木村 憲治	会長(代表理事)	会長(代表理事) 兼 強化事業本部本部長 兼 ビーチバレーボール事業本部本部長
井原 実	業務執行理事 業務推進室長 兼 ビーチバレーボール業務部部長	業務執行理事 業務推進室長 兼 ビーチバレーボール事業本部副本部長 兼 ビーチバレーボール業務部部長
桐原 勇人	業務執行理事 ビーチバレーボール事業本部本部長	業務執行理事 ビーチバレーボール事業本部副本部長
荒木田 裕子	強化事業本部本部長 兼 女子 GM 兼 女子強化委員会委員長	女子強化委員会委員長

今回のビーチバレーボール事業本部の役員担務で、木村会長が本部長を兼務することに加え、東京五輪でのメダル獲得に向け、桐原業務執行理事は強化に専念し、大会運営は井原業務執行理事が担当することとなりました。今後、具体的な運営・強化方針を立て、ビーチバレーボール事業を進めていきます。

強化事業本部については、木村会長が自らイニシアチブをとって東京五輪でのメダル獲得に向け、早期に強化体制を確立・推進させていくものであり、今後、適任者がいれば兼務を解消することも考慮しています。

●運営委員の追加選任について

運営委員の追加選任について以下の説明がおこなわれ、承認可決されました。

先般参議院議員に当選し、バレーボール及びスポーツ界全体の発展、2020 東京五輪の成功に向けた活動、経済活性化等での活躍が期待される朝日健太郎氏をバレーボール協会の運営委員に推薦いたしたい。

●報告事項

(1)リオデジャネイロオリンピック報告

眞鍋監督より、オリンピック最終予選(OQT)並びにリオデジャネイロオリンピックに関する報告がなされました。

(2)リオデジャネイロオリンピック視察報告

JVA 関係者によるリオデジャネイロオリンピックでのチーム支援・視察報告が以下の通り行われました。

期間 : 2016 年 8 月 5 日～23 日

メンバー : 木村憲治(会長:FIVB 派遣)、林孝彦(事務局長)、小田桐隆(強化)、君島知喜(ビーチ)、工藤有美(広報)、藤野隆弘(2020 組織委員会派遣)

目的 : 1)メダル獲得を目指す全日本女子チームへの支援。
2)2020 東京五輪に向けた強化・大会運営・広報を中心とした視察。
3)2020 東京五輪に向けての FIVB、JOC、2020 組織委員会、メディア、協力企業等との連携、情報交換、関係部門関連施設等の視察。

強化... 全日本女子チームは準々決勝でアメリカに敗戦し 5 位、優勝は中国、男子優勝は開催国のブラジル、ビーチバレーボールは男子がブラジルペア、女子はドイツペアが優勝となりました。男女ともにフィジカル面の強さが感じられ、プラス α の特徴が国別に感じられました。今後の強化対策は、2020 東京でのメダル獲得に向けインドア・ビーチともにこれまで以上の緻密さと大胆さを盛り込んだ計画が必要と考えます。

運営... インドア会場は既存施設(15,000 人収容)を改築して使用、ビーチバレー会場は仮設施設(12,200 人収容)にて開催。大会開催となっても準備不足部分がありました。また、日本の建築基準では許可にならないであろう施設や備品類でした。2020 の大会運営を円滑に進めるためには、多くの優秀なスタッフが必要であり、集客面では、日本戦以外の観客がまばらとならないよう観戦における魅力創出策が必要と思われまます。

広報... 期間中の試合結果の速報やストーリーを TV、インターネット、新聞、情報関連先のメディアと連携し、国内・海外に向け迅速に発信する重要性を感じました。2020 東京五輪開催に向け、この

4年間バレーボール競技の魅力をどのように発信し続け、大会期間中の情報発信をより斬新なものとするか計画的に準備を進めていかなければなりません。

その他・・・ FIVB と開催国のブラジル協会共同のバレーボールの普及イベントがビーチ会場横のコパカパーナビーチで実施されました。また、FIVB バレーボールハウスも設置されました。
※JOC ジャパンハウス、FIVB ハウス他でのイベント等に出席。

以 上

発 行 : 公益財団法人日本バレーボール協会 発行人 : 事務局長 林 孝彦
電 話 : 03-5786-2100 FAX:03-5786-2109 E-mail : generalaffairs@jva.or.jp